

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690800083
法人名	株式会社 みさき
事業所名	グループホーム あゆみ
所在地	鹿児島県出水市荘973番地1 (電話) 0996-82-5511
自己評価作成日	平成26年1月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年2月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

慣れ親しんだ地域の中で地域の方々・入所者の方・スタッフが共に歩んで行きたいという願いを込め、ホーム名を『あゆみ』にしました。入所者の思いを第一に考え、お一人おひとりに応じた支援を行い役割や楽しみを持って生活して頂けるよう努めています。広い敷地内には散歩や日向ぼっこができるスペースや畑があり、できるだけ屋外で過ごす機会を作るよう心掛けています。畑では入所者の方と一緒に季節の野菜を育て、新鮮な野菜は食事のメニューの中に取り入れています。また、ホール内にはテーブル席をはじめソファや1人掛け用の椅子を配置し、思い思いに過ごせるよう居場所の工夫をしています。テーブル席では調理の下ごしらえや洗濯物たたみ等の家事の手伝いや、塗り絵や計算問題など興味を持たれる活動に参加できるように場面作りを行っています。今後もご家族とのつながりが途切れることがないように訪ねてきやすい雰囲気心がけ、共に支えて行く姿勢を大切にしていきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・出水市郊外の住宅地域に立地している。ツル飛米地で知られる静かな田園風景が広がっている。また同法人のグループホームも近隣にある。民家も多く散歩や日光浴の際にも挨拶や会話を楽しめる環境である。
- ・自治会に加入し地域行事に参加する一方、事業所の行事にも多くの地域住民が参加するなど交流を積極的に進めている。また地域の消防団に認知症サポート養成講座を開設し、認知症に対する正しい知識と対応等の理解も発信している。
- ・災害対策として、定期的に避難訓練を実施し安全対策の設備整備もなされ、地域住民の協力体制もできている。
- ・利用者個々人の生活歴や習慣を大切にし、外出を計画したり馴染みの友人知人や場との継続的關係が途切れないよう支援したりしている。職員も利用者が張り合いや喜びのある生活をすごせるようにと意欲的である。
- ・職員育成にも力を入れて、各種研修への出席も奨励して職員の働く意欲を引き出している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者の尊厳と暮らしを第一に考え、スタッフ会議で話し合い作成した。玄関先に掲示し、理念を糧にケアが活かされているか振り返るようにしている。	職員全員で話し合い、独自の理念を作り上げている。玄関や事務室に掲示し、パンフレットにも掲載している。申し送り時やスタッフ会議などを通して振り返り、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、自治会長には毎回運営推進会議にも参加して頂いている。避難誘導の際にも協力を得られるようにしている。	自治会に加入し地域の行事に積極的に参加している。事業所行事の敬老会などに多くの地域住民の参加がある。高校生の職場体験学習やボランティアの受け入れも行っている。認知症サポーター養成講座を開くなどして、認知症に対する正しい知識や対応等の理解を発信している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の消防団の方を対象に認知症サポーター講座を受講してもらい、理解や支援が得られるよう努めている。介護職員資格取得者の施設見学の受け入れなども行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議には自治会長、民生委員、家族、介護保険課の方の参加を得て施設の状況報告を行い、意見交換や助言等頂きサービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告、現在取り組んでいる内容についても意見をもらっている。会議における助言で肺炎球菌ワクチンや口腔ケアなど具体的なケア改善に繋がっている。現状報告や行事、課題など話し合わせ助言、指導をいただき、改善やサービス向上につなげている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>利用者や業務に関する相談等を行ったり、情報を得、サービスの向上に努めている。運営推進会議でも指導や助言を常に頂いている。</p>	<p>市の担当者とは日頃から電話や訪問で連携を取り合い情報を交換しアドバイスを得ている。市主催の研修会にも積極的に出席している。運営推進会議に毎回参加してもらい協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>指針を作り、スタッフ会議でも話し合い、利用者の行動に対して妨げる事がないようにしている。利用者に危険が伴い、やむを得ない場合に関し、家族の同意を得、不快に感じる事がないよう配慮しながら行うようにしている。</p>	<p>「身体拘束廃止の指針」を基にマニュアルがあり定期的に勉強会を実施している。外部研修にも積極的に参加し、講師を招いた研修会などで正しく理解し身体拘束ゼロを実践している。言葉による拘束についても配慮している。昼間は施錠せずに職員間の連携で見守り、利用者地域住民の声かけ協力がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	利用者に対して常に敬意を持って接するよう学ぶ機会を設け、日頃のケアを振り返り再認識するようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	市の職員を招き、権利擁護について勉強会を行った。必要性があった時、活用できるよう、これからも学ぶ機会を設け、支援に努めたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書や重要事項等で説明し、不明な点がないか尋ねるようにしている。特に医療連携や重度化、入院、退所に関しては十分に説明を行い、同意を頂けるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を開催し、意見や要望を聞いたり、面会に来られた際に個々に尋ね、希望に添えるよう日々努めている。利用者にはコミュニケーションをとりながら聞くようにし、反映できるようつとめている。玄関先に意見箱を設置している。	利用者については気軽に話し合える雰囲気作りに留意し、日常会話や表情などからくみ取るよう心がけている。家族からは面会時や家族会・行事参加後をよい機会としている。出された意見や要望等は職員で話し合い運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフの意見を聞き、スタッフ会議で話し合い、全員が納得した上で業務できるようにしている。必要に応じて個人面談なども行い意見や要望等、聞くようにしている。	職員の殆どが開設当初からでコミュニケーションが取れていることもあり、意見の出やすい環境である。日々の申し送りや会議等で職員の気づきを聞く機会を設け、具体的な業務改善に反映させている。必要時には個人面談も行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員が向上心を持ち働きやすい環境を作り、個々の努力や実績が給与や賞与に反映できるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケアの実際と力量を把握した上でスタッフ全員が法人外の研修を受ける機会を作り、学んだ事を研修記録にまとめてもらい、スタッフ会議を利用し発表する場を設けている。法人内の研修や外部から招いての研修にも取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設見学や研修の受け入れなど積極的に行っている。情報交換等も行いサービス向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前の面談で心身の状態や本人の思いの把握に努め、それを“事前情報”の用紙に記入し全職員で共有している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前の面談でご家族の求めていること、不安に思われていることなどを伺い、事業所としてどのようなことができるか話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な利用者には可能な限り柔軟な対応を心がけている。入所に対し本人やご家族の不安が強い場合は、他のサービス利用も含め一緒に検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が一方的に介護するのではなく、できることはしてもらいできないところをさりげなくサポートするよう努めている。手伝ってもらった時は必ずお礼の言葉を添えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等を利用し、心身の変化を含め日常の様子を伝えている。両者で情報交換する中で共に支える関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の付き添いで定期的に自宅に帰ったり、馴染みの美容室に通われている方がいる。ご家族・知人・友人の面会時は自室でゆっくり過ごせるよう配慮している。	馴染みの友人知人の訪問があり、関係を継続できるように働きかけている。電話や手紙の取つきなども行っている。家族の協力で馴染みの理美容院を利用したり、買い物や外食、帰宅なども支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、状況によって座る位置を検討したり、職員が間に入り円滑な関係が築けるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了してもご家族からの相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用開始前の面談や日々の関わりの中で、一人ひとりの思いや希望をくみ取り意向に添えるよう努めている。	利用開始前のアセスメントや日常会話や動作などから思いや意向をくみ取るようこころがけ、申し送りノートやケース記録などで情報を共有し意向に沿えるようケアに反映させている。家族や馴染みの友人知人からの情報もケース記録等で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始前の面談や利用開始後も、本人やご家族との会話の中から把握するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりや申し送り、記録等で一人ひとりの現状把握に努め、できる事が継続できるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族と話し合い、思いや要望等反映した介護計画を作成するようにしている。モニタリングは3ヶ月に1回、職員会議の中で行い意見交換している。個別のケアについても会議で話し合い、より良い方向に検討している。	本人や家族が参加した担当者会議で話し合い意向を汲み取った上で主治医の意見やアドバイス等を取り入れ、介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し見直している。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	体調や日々の様子については個別の記録に記載し、申し送り等で情報共有している。細かいことについては職員会議で話し合い、ケアの見直しに役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・ご家族共に入所に対する不安が強い時は、入所前でも気軽に遊びにきて頂くよう声をかけている。一人ひとりのニーズにできるだけ対応できるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の方が面会にきて下さったり、ご家族の協力のもと行きつけだったお店に買い物に行かれる方がいる。日光浴や散歩など屋外で過ごす時に地域の方と会話する機会もある。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族が希望するかかりつけ医を利用されている。ご家族が付き添い受診される方、往診を受けられる方もおり、“診察記録”のシートを使用し医療機関との連携に努めている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関の2週間に1回の訪問診療がある。通院は家族の協力を得ながら支援し、受診結果は家族と事業所が共有している。緊急時の対応などには連携を取りながら適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置し、24時間365日連絡できる体制を整えている。看護師と医療機関との連携もとれている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中は面会やご家族への電話等で本人の状況を把握するよう努め、状況に変化があった場合は病院関係者からも情報を得るよう心掛けている。病状が落ち着いた時点で、できるだけ早く退院できるよう働きかけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に“重度化した場合における対応に関わる指針”を説明し、事業所でできること・できないことを明確にしている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に際しては、事業所が取り得る対応の指針を本人や家族に説明して同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、医師や看護師を含む関係者が連携して、支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の協力を得て救急法の研修を実施し、全職員が対応できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や地元の消防団の協力を得、年2回避難訓練を行っている。緊急連絡網の中に自治会長さんや消防団の方も入っており地域との協力体制も築いている。日中のみでなく夜間想定の実訓も行っている。	年2回消防署の立会いのもと、昼夜間想定の実訓を実施している。緊急連絡網に自治会長や地域消防団とも協力体制が整っている。通報システムやスプリンクラーが設置され、防災設備もなされている。災害用の食料や飲用水の備蓄もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報保護法、プライバシー保護についての勉強会を行い、意識の向上を図っている。一人ひとりの人格を尊重し、丁寧な言葉かけや対応を心がけている。	日々のケアの中で、人格やプライバシーを損ねず、人としての尊厳を保てる言葉かけや対応についてマニュアルがあり、個人情報・プライバシー保護についての勉強会を定期的に行っている。個人記録等の取扱いにも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションの中から思いや希望をくみ取り、少しでも希望に添えるよう努めている。利用者に決めてもらうような声掛けをし、無理強いしないよう気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりのペースや体調に合わせた支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着る服を自分で選ばれる方、見守りや支援が必要な方がおり、その方に応じた対応を心がけている。家族の協力を得て、馴染みの美容室を定期的にご利用されている方がいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材や入居者の方と一緒に育てた野菜をメニューの中に取り入れている。立位での作業が困難な方が多いため座っての作業（調理の下ごしらえ等）を手伝ってもらっている。	敷地内で取れた野菜や近所からの差し入れなどの旬の野菜を使用し、希望に添った献立を工夫している。力量に応じて一緒に下ごしらえや配膳・下膳をしている。誕生会や行事食・弁当・おやつなど、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調管理表にて毎日の食事量・水分量を把握している。食べやすい形態での食事を提供し、水分や汁物でむせやすい方はトロミを使用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その方の力に応じ見守りや介助を行い、毎食後口腔ケアをしている。夕食後は義歯を預かり消毒をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛けや誘導を行っている。夜間オムツを使用している方も、日中はトイレ誘導を行い排泄の自立に向けた支援を心がけている。	排泄チェック表を活用し、声かけでトイレ誘導を行い日中は布パンツやリハビリパンツ・パット、夜間はパット交換で自立に向けた支援を行っている。各居室にトイレが設置されており自立につながっている。改善がみられた事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	屋内外の散歩をはじめ体を動かす機会を作ったり、適切な食事・水分量が摂れるよう支援している。繊維の多い食材や牛乳などの乳製品を取り入れるなどの工夫も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の状況により曜日や順番を決めているが、その日の体調や意向を考慮し柔軟な支援をしている。拒否がある時は人やタイミングを変え気持ちよく入浴してもらえるよう努めている。	入浴は基本的に週3回であるが、体調や希望に添った入浴ができるように支援している。状況により清拭や足浴・時間の調整など随時対応している。入浴剤を使用したり気持ちよく入浴できるよう支援している。入浴をいやがる利用者には、職員間で連携し、声かけなど工夫して状況改善に努めている。家族と温泉に出かける利用者もいる	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や状況に応じて適度な休息がとれるよう配慮している。できるだけ日中の活動量を増やし、夜は自然な眠りにつくことができるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	“薬の説明書”で一人ひとりが服用している薬の作用・副作用を把握し、確実に服薬できるよう支援している。症状に変化等見られた時は看護師を通じ主治医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の好きなこと・できることに注目しレクリエーションや簡単な作業などをしてもらい、一人ひとりの楽しみや役割等の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は屋外でお茶を飲んだり散歩を行っている。週に1回の施設の買い物に同行してもらったり、ご家族の協力のもと墓参りや外食などに出かけられることもある。できるだけ希望に添った支援を心がけている。	広い敷地内のいたる所にベンチが置かれ、天気の良い日は散歩や日光浴を楽しんでいる。週1回の買い物同行やドライブ・花見・初詣など、外出を楽しめるよう支援している。家族の協力を得て墓参りや外食・温泉に行ったりしている。外出が困難な利用者には車椅子対応車を利用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の了解があり所持されている方がいるが、実際それを使う場面はない。施設の買い物に同行される時、その日のお茶菓子を選んでもらったり支払いをしてもらう時がある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があった時は電話が使えるよう支援し、ご家族から電話があった時は取り次ぎをし自室でゆっくり話してもらっている。手紙が届いた時は返事を書く手伝いをしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>不快な臭いがこもらないように掃除や換気を心がけ、温度や湿度についても温・湿度計で確認しエアコンや加湿器で調節している。ホール内は手作りのカレンダーや作品を飾り、季節ごとに飾りつけを工夫している。</p>	<p>共用の空間は天井が高く、大きな窓があり明るい。廊下やリビングにはソファや椅子が置かれ、湿・温度計が設置されてエアコンと加湿機能を備えた空気洗浄機がある。壁には手作りのカレンダーや写真が飾られている。清潔で明るい。心地よく過ごせるよう配慮がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者の関係性などを配慮した居場所作りを行っている。テーブル席の他にソファや一人がけ用の椅子を配置し、気の合う人同士や一人で過ごせるスペースを作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>基本的には本人やご家族が希望されるものを持ってきてもらい、安全面を考慮しながら配置している。写真、花、本など窓辺に飾っている方もおり居心地の良い部屋作りを心がけている。</p>	<p>居室は広く窓も大きく明るい落ち着いた雰囲気となっている。ベッドやエアコン・クローゼット・洗面台・車椅子対応トイレが設置されている。寝具類や家・時計・鏡など、これまで使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれて居心地よく過ごせるような工夫がしてある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車椅子や歩行器使用の方が多いため、ホール内には不要なものをおかないよう整理整頓に努めている。一人ひとりの能力や状態に応じて家具やベッドの位置を変える等、安全面に配慮しつつ自立に向け支援している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない